



従業員の満足も社会課題の解決も どちらも大切にサステナビリティを推進



コーボレート本部長
佐々木 澄和

東海理化は、1948年の創立以来、「人が手掛けないことこそやる」の創業者精神を大切に、「豊かな社会づくりに貢献」「個性とチャレンジ精神を尊重」「自然・地域と共生する企業」をキーワードとした経営理念に基づき事業を進めてきています。

2022年度を振り返ると、4月にESGのグローバル基準を満たす株価指数「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に選定されました。

9月に「プラチナくるみん」の認定を、10月に愛知県より「あいち女性輝きカンパニー」の認定を受けたのは、ダイバーシティ&インクルージョンの推進を積極的に進めており、男性育児休暇の推進、女性管理職数の増加などに取り組んでいることが評価されたものです。

11月にマルチステークホルダーに対する人権の考え方を

まとめるために社長名で「人権方針」を制定し、2023年3月には「健康経営優良法人(ホワイト500)」に4年連続で選定されました。

また、地域の課題を地域の皆さまとともに同じ目線で考え、悩み、解決を模索する「地域共創」を進めており、本社のある愛知県大口町ではいちご栽培を通して耕作放棄地の活用と障がい者の活躍の場の創出を、新拠点の秋田県横手市では「かまくらまつり」で地域の皆さんと交流し地域に根差した会社をめざしており、福島県の会津若松市では山間地域の課題解決のため、野菜の配送、空き家を使った自給自足型企業研修の開催などさまざまな取り組みに挑戦中です。

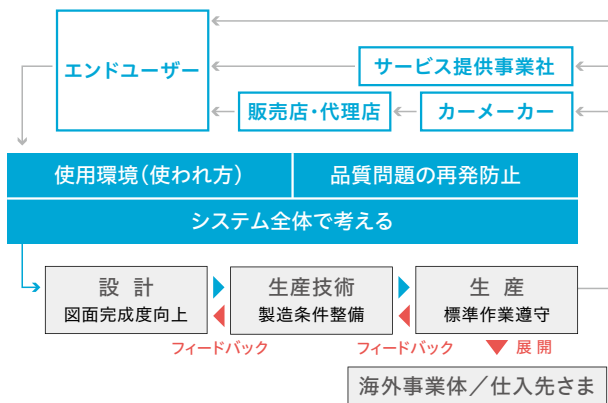
従業員の満足も社会課題の解決もどちらも大切にするという考えに基づきサステナビリティを推進しています。

顧客の安全・品質方針

東海理化の商品が、人々の生活、産業・経済活動を支える社会システムの中で欠かすことのできない存在であり続けるよう、「安全・安心・快適な製品づくり」を進めています。また、品質は「お客さまと社会のニーズを満たす度合い」と捉え、お客さまの安全・安心確保はもちろんのこと、お客さまにご満足していただける製品をお届けするため、品質機能方針を定めグループ一丸となって品質向上活動に取り組んでいます。

東海理化グループの品質機能方針

[品質向上活動の考え方]



- ①「品質の東海理化」を支える基盤強化
- ②「業界No.1」必達に向けた品質確保
- ③新事業のお客さま満足度の向上

1 「品質の東海理化」を支える基盤強化

良品を造ることに加え、良品を"維持"することに拘った良品条件整備や、再発防止のしくみ強化により、品質が維持・向上できる基盤強化に取り組んでいます。

2 「業界No.1」必達に向けた品質確保

お客さまの安全・安心を徹底して考えた設計・評価による製品安全確保、不良を流出・発生させないモノづくり品質の確保をより進化させ、「業界No.1」の品質実現に向け取り組んでいます。

3 新事業のお客さま満足度の向上

お客さまの困り事に常に寄り添ったアフターサービスが提供できる体制の整備と、その実現に向け取り組んでいます。

品質風土づくり

過去にお客さまにご迷惑をかけた「品質不具合」と「学び」を後世に伝承し、製品安全を最優先した風土を維持し続けるために誰でも学習できる品質ルームを常設しています。



過去の品質不具合を展示



お客さま目線で製品の不具合を体験できるモック